



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ワタミ株式会社

コード番号 7522 URL <http://www.watami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長

(氏名) 小田 剛志

TEL 03-5737-2703

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	77,701	△3.7	△1,039	—	△1,744	—	△4,114	—
26年3月期第2四半期	80,719	6.7	2,477	△37.0	1,882	△42.7	550	△55.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △4,161百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 806百万円 (△35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△110.19	—
26年3月期第2四半期	13.73	13.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	129,465	18,276	13.8	478.81
26年3月期	127,910	22,768	17.5	600.10

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 17,881百万円 26年3月期 22,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	△5.6	1,300	△55.8	200	△90.6	△3,000	—	△80.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	41,686,780 株	26年3月期	41,686,780 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,340,855 株	26年3月期	4,376,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	37,337,741 株	26年3月期2Q	40,042,883 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策により緩やかに回復の兆しが見られたものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響等により厳しい状況が続きました。当社グループを取り巻く環境も依然として厳しい状態が続いております。

このような環境下、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①国内外食事業

国内外食事業におきましては7店舗を新規出店いたしました。一方では52店舗の撤退を行い、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は600店舗となりました。しかしながら厳しい事業環境が続き、既存店売上高前年比は92.7%、既存店客数前年比は92.7%、既存店客単価前年比は100.2%となっております。

その結果、国内外食事業における売上高は31,307百万円（前年同期比90.6%）、セグメント損失は2,354百万円（前年同期は241百万円の損失）となりました。

②介護事業

介護事業におきましては3棟の新規施設を開設し、6,300名を超えるお客様にご入居いただいております。当第2四半期連結会計期間末における施設数は105棟となっております。しかしながら、新規入居者様数が想定を下回って推移していること等により、既存施設の入居率は、当第2四半期連結会計期間末で82.7%となっております。

介護事業における売上高は17,769百万円（前年同期比100.7%）、セグメント利益は1,551百万円（前年同期比71.3%）となっております。

③宅食事業

宅食事業におきましては、12ヶ所の新規営業拠点を開設し、当第2四半期連結会計期間末の営業拠点数は541ヶ所となっております。しかしながら、新規のお客様獲得が伸び悩み、9月の最終週における調理済み商品の平日1日あたりお届け数は264千食（前年同月最終週は286千食）となっております。

宅食事業における売上高は20,175百万円（前年同期比93.9%）、セグメント利益は1,017百万円（前年同期比57.7%）となっております。

④海外外食事業

海外外食事業におきましては、9店舗の新規出店を実施し、一方では2店舗の撤退を行い、当第2四半期連結会計期間末の店舗数104店舗となっております。海外外食事業における売上高7,231百万円（前年同期比113.4%）、セグメント損失は95百万円（前年同期は98百万円の利益）となりました。

⑤その他事業（農業、環境事業等）

その他の事業におきましては、農業の外部販売の拡大、環境事業の再生エネルギー部門の拡大により、売上高は1,218百万円（前年同期比184.9%）、セグメント損失は43百万円（前年同期は28百万円の損失）となっております。

当第2四半期連結累計期間における企業集団の成果は、上記のような施策の結果、売上高77,701百万円（前年同期比96.2%）、営業損失1,039百万円（前年同期は2,477百万円の利益）、経常損失1,744百万円（前年同期は1,882百万円の利益）、四半期純損失4,114百万円（前年同期は550百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比1,554百万円増加して129,465百万円となりました。流動資産は、前期末比2,757百万円減少の16,939百万円、固定資産は、前期末比4,311百万円増加の112,525百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、介護施設の新設、外食店舗設備の購入等に伴うリース資産の計上等により前期末比3,920百万円増加の76,347百万円となりました。無形固定資産は、のれんの償却やソフトウェアの計上等により前期末比477百万円増加の8,353百万円となりました。投資その他の資産は、介護施設の新規開設に伴う差入保証金の増加や外食店舗の撤退に伴う差入保証金の減少等により前期末比86百万円減少の27,824百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比6,046百万円増加の111,188百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加等により前期末比7,440百万円増加の38,917百万円、固定負債は、長期借入金の減少等により前期末比1,393百万円減少の72,270百万円となっています。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金及びリース債務の合計額）は、前期末比8,168百万円増加の79,110百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の減少等により前期末比4,491百万円減少し、18,276百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日の「業績予想の修正及び特別損失の計上並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,395	7,168
売掛金	4,237	4,436
商品及び製品	430	401
仕掛品	267	279
原材料及び貯蔵品	539	536
その他	4,836	4,128
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	19,696	16,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,441	18,786
リース資産	48,939	49,824
その他	4,046	7,736
有形固定資産合計	72,427	76,347
無形固定資産		
のれん	6,546	6,233
その他	1,329	2,119
無形固定資産合計	7,875	8,353
投資その他の資産		
差入保証金	23,346	22,642
その他	4,768	5,385
貸倒引当金	△203	△203
投資その他の資産合計	27,911	27,824
固定資産合計	108,214	112,525
資産合計	127,910	129,465

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,100	3,643
短期借入金	6,143	15,070
リース債務	3,972	4,168
未払法人税等	912	567
賞与引当金	1,143	938
販売促進引当金	124	106
短期契約解除引当金	29	26
その他	15,051	14,397
流動負債合計	31,477	38,917
固定負債		
長期借入金	13,261	11,303
リース債務	47,563	48,568
長期預り入居金	8,177	7,593
資産除去債務	2,485	2,616
その他	2,176	2,188
固定負債合計	73,664	72,270
負債合計	105,141	111,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	19,629	15,115
自己株式	△6,972	△6,910
株主資本合計	22,069	17,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	7
為替換算調整勘定	314	256
その他の包括利益累計額合計	320	263
新株予約権	378	385
少数株主持分	0	9
純資産合計	22,768	18,276
負債純資産合計	127,910	129,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	80,719	77,701
売上原価	37,924	38,461
売上総利益	42,794	39,240
販売費及び一般管理費	40,317	40,279
営業利益又は営業損失(△)	2,477	△1,039
営業外収益		
受取利息	69	79
設備賃貸収入	243	232
助成金収入	33	14
雑収入	459	461
営業外収益合計	806	788
営業外費用		
支払利息	1,026	1,129
設備賃貸費用	247	217
持分法による投資損失	41	31
雑損失	85	115
営業外費用合計	1,401	1,494
経常利益又は経常損失(△)	1,882	△1,744
特別損失		
固定資産除却損	206	166
リース契約解約損	3	23
賃貸借契約解約損	—	126
減損損失	368	900
特別損失合計	578	1,216
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,304	△2,961
法人税、住民税及び事業税	1,222	551
法人税等調整額	△468	591
法人税等合計	754	1,143
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	550	△4,104
少数株主利益	—	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	550	△4,114

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	550	△4,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	254	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△9
その他の包括利益合計	256	△57
四半期包括利益	806	△4,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	806	△4,171
少数株主に係る四半期包括利益	—	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,304	△2,961
減価償却費	4,353	4,430
減損損失	368	900
のれん償却額	315	312
賞与引当金の増減額(△は減少)	△175	△204
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△3	△17
受取利息及び受取配当金	△70	△80
支払利息	1,026	1,129
固定資産除却損	206	166
リース契約解約損	3	23
賃貸借契約解約損	—	126
差入保証金償却額	249	265
預り金の増減額(△は減少)	△39	△608
売上債権の増減額(△は増加)	△28	△204
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49	43
未収入金の増減額(△は増加)	△35	△123
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,074	△443
未払金の増減額(△は減少)	△572	△408
未払費用の増減額(△は減少)	△156	△182
未払消費税の増減額(△は減少)	255	734
入居保証金の増減額(△は減少)	△470	△687
その他	△73	△502
小計	5,330	1,709
利息及び配当金の受取額	9	5
利息の支払額	△1,024	△1,126
法人税等の支払額	△1,570	△1,004
法人税等の還付額	1,187	735
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,931	319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,543	△5,560
無形固定資産の取得による支出	△317	△581
差入保証金の差入による支出	△891	△579
差入保証金の回収による収入	169	439
貸付けによる支出	△6	△25
貸付金の回収による収入	4	4
預託金の差入による支出	△316	△582
預託金の払戻による収入	377	—
その他	241	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,282	△7,066

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,043	9,968
短期借入金の返済による支出	△5,800	—
長期借入れによる収入	6,346	119
長期借入金の返済による支出	△2,527	△3,068
社債の償還による支出	△200	—
自己株式の取得による支出	△199	△0
自己株式の処分による収入	46	36
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,989	△2,129
配当金の支払額	△600	△373
財務活動によるキャッシュ・フロー	△880	4,552
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	△32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,093	△2,226
現金及び現金同等物の期首残高	9,004	9,395
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△906	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,004	7,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	介護	宅食	海外 外食	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,553	17,635	21,497	6,374	80,061	658	80,719	—	80,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,058	—	—	—	1,058	866	1,925	△1,925	—
計	35,612	17,635	21,497	6,374	81,119	1,525	82,645	△1,925	80,719
セグメント利益又は 損失(△)	△241	2,174	1,764	98	3,795	△28	3,766	△1,289	2,477

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業、環境事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,795
「その他」の区分の利益	△28
のれんの償却額	△315
全社費用(注)	△939
その他の調整額	△35
四半期連結損益計算書の営業利益	2,477

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては368百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	介護	宅食	海外 外食	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,307	17,769	20,175	7,231	76,483	1,218	77,701	—	77,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,146	—	1	—	1,147	903	2,051	△2,051	—
計	32,453	17,769	20,177	7,231	77,631	2,122	79,753	△2,051	77,701
セグメント利益又は 損失(△)	△2,354	1,551	1,017	△95	119	△43	75	△1,114	△1,039

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業、環境事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	119
「その他」の区分の利益	△43
のれんの償却額	△312
全社費用(注)	△810
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,039

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めておりました「海外外食事業」について、量的重要性が増してきたことを踏まえ、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては900百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。